

## 研究ノート

# きゅうちゃんの歴史（Ⅱ）

## —とっても大事な「ちょこっと使い」編—

石田ゆき<sup>1)</sup>

ISHIDA Yuki

キーワード：きゅうちゃん・看図アプローチ・ビジュアルテキスト・アイスブレイク・ふりかえり

### Ⅰ. はじめに

前報（石田 2022）ではきゅうちゃんの起源について紹介した。どんな授業でどんな活用をされるのかわからないまま制作を始めたきゅうちゃんは、「好中球」をモチーフにしたキャラクターであった。やがて「きゅうちゃんリスト」の制作が始まり、本稿執筆現在、ちょうど 600 種類まで増殖している。

きゅうちゃんはビジュアルテキストとして、授業の様々な場面で活用可能である。短時間で扱うこともできるし、授業の本題にすえて時間をかけて扱うこともできる。本稿では、「とっても大事なちょこっと使い」なきゅうちゃん活用例を紹介していく。大きく分けて「アイスブレイク・協同の場づくり」「ビジュアルテキスト読解のウォーミングアップ・エクササイズ」「ふりかえり」の活用例 3 種を取り上げる。本論サブタイトルの通り、どの活動も看図アプローチ授業を進行する上で不可欠で「とっても大事」なものである。短時間に「ちょこっと」導入できてかつ学習効果も期待できる、優れもの・優れきゅうちゃん活用法である。

### Ⅱ. 「アイスブレイク」および「協同の場づくり」への活用

#### Ⅱ-1 「あなたの気持ちに一番近いきゅうちゃんは？」シリーズ



ワークシート 1

きゅうちゃんは、学習者の緊張感をほぐし、自己開示させることが得意である。例えばワークシート 1 がある。このワークシートでは、「以前・今・将来の自分に近いきゅうちゃん」を選んでもらい、その選択理由を問うている。

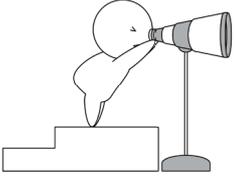
ワークシート 1 は、2016 年 5 月 26 日に筆者が医療系 A 大学の授業の中で使用したワークシートである。このときが初めての使用であったので、実験的にコンテンツとコンテンツの切れ目のブレイクワークとして活用した。「以前」「今」「将来」

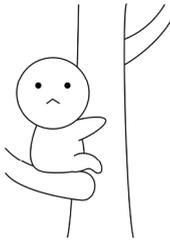
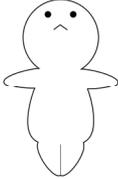
1) 日本医療大学

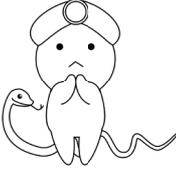
の各記入欄に個人で書き込んでもらい、その内容をグループで共有してもらった。アイスブレイクは授業の冒頭に行うのが一般的であるが、授業の中で学習者の集中力を保ったり、気持ちをリセットしたりするのも効果的である。学生の記述例

を掲載する(表1)。表1の各記述内容はひとりのものでなく複数の学生の記述である。なお、本稿で紹介する資料の使用については学生たちから書面によって承諾を得ている。

表1 記述例

	選択したきゅうちゃん	そのきゅうちゃんを選択した理由
以前	1 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネガティブだったから(小学校の頃毎日楽しく過ごせなかった)</li> <li>・新しい環境に慣れず病んでいた</li> <li>・何も見ないようにしていた</li> <li>・人の視線がとて怖かった(人の目を気にするタイプ)</li> <li>・ひとりになりがちだった</li> <li>・疲れていた</li> <li>・精神的な傷を負った</li> <li>・はずかしがりやだった</li> <li>・目の前のことをただこなしていた</li> </ul>
	2 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短気だった</li> <li>・イライラしている</li> <li>・ケガや病気をしていた</li> </ul>
	3 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢について悩んでいた</li> <li>・怠け者だった</li> <li>・ゴロゴロしていた</li> <li>・ケガで入院したことがある</li> </ul>
	4 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校までは授業で教えられたことを覚えればよかったから</li> <li>・やりたいことがはっきりしていなかった</li> <li>・さみしがりやだった</li> <li>・思っていることを言わない人だった</li> </ul>
今	1 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんなことを見て学んでいる</li> <li>・探求心が旺盛</li> <li>・人を観察している</li> <li>・自分を探している</li> <li>・物事の真理を見つめたい</li> <li>・好きな物や事を探している</li> </ul>

将来	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行や冒険に行きたい</li> <li>・何も見えないこの先の人生を必死に進んでいる</li> <li>・悩み事の答えを見つけられずにいる</li> <li>・途方に暮れている</li> <li>・進んではいるがどこに着くかわからない</li> <li>・ぷかぷかと浮いてラクしたい</li> </ul>
	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハリーポッターのように魔法を使いたい</li> <li>・ゴニオメーターで勉強中</li> </ul>
	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来やりたい領域を探したり今やっているセラピストの勉強は臨床でどのように役立つか探している</li> <li>・勉強に必死についていこうとしている</li> <li>・何かにしがみついて生きている</li> <li>・高いところの景色を見たい</li> <li>・静かな所でのんびりしている</li> <li>・やんちゃしている</li> <li>・目標に向かって登っていく</li> </ul>
	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・五郎丸選手に憧れている</li> <li>・セラピストになって運動を教えている（リハビリ）</li> <li>・エクササイズしたい</li> </ul>
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の目標に向かって（手に持っているものは目標を書いたもの）</li> <li>・もっと視野を広げたい</li> <li>・ヴァージンロードをひくのは自分</li> <li>・道を開いていきたい</li> <li>・糊代を持っていたい</li> <li>・ケガをした人の競技復帰を手伝いたい</li> <li>・人を手助けしたい</li> <li>・家族をもってピクニックしたい</li> </ul>
	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人前に胸をはって立てる人になりたい</li> <li>・常に上をめざして生きたい（他人に左右されず自分を信じる）</li> <li>・空を飛べるほど自由に生きたい</li> <li>・バランスの取れた食生活がしたい</li> <li>・姿勢をよくしたい</li> <li>・天に召される（まだ死にたくはない）</li> <li>・大きく羽ばたきたい</li> <li>・器の大きい人になりたい</li> </ul>

4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛇使いのように色々な技を使いたい</li> <li>・いろんなことに興味をもって調べていきたい</li> <li>・海外に行ってみたい</li> </ul>
---	---	--

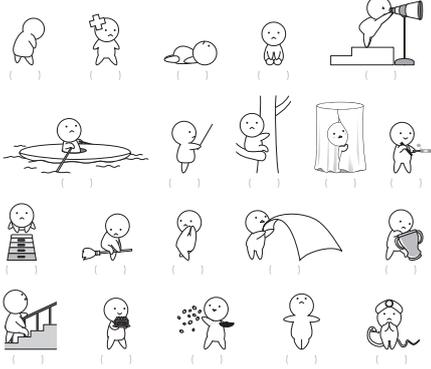
「以前」の項目では比較的ネガティブな表現がみられるが、「今」「将来」にかけて「○○している」「○○したい」「○○になりたい」といったポジティブな表現に変化していることが見受けられる。

筆者がきゅうちゃんをアイスブレイク・ブレイクワークとして活用する試みはこのときが初めてだった。筆者の感覚ではあるが、この試行実践を受けて「きゅうちゃんをもっとたくさんの思いを引き出せそう」と考えた。それからワークシートの改訂を重ね、きゅうちゃんを20種類まで増加させ、時期・時代ごとの選択肢制限をなくしたものが出来上がった(ワークシート2)。このワークシートに対する学習者の記述例は省略する。

さらに、「以前」「将来」の選択肢をなくし、「今」に焦点をあてさせるバージョンを作成した(ワークシート3)。ワークシート3は、ワークシート2ときゅうちゃんの種類は同じで、レイアウトを変えたものである。このワークシートを活用した実践例は石田(2021)で紹介しているので、本稿ではその内容紹介は省略する。この構成のワークシートが现阶段で最も使用頻度が高くなっている。ただし、きゅうちゃんの実践例が6個の実践例もある。例えば、田中他(2022)は小学校1年生を対象として実践している。田中他(2022)は児童に「過去・現在・未来の自分きゅうちゃん」を選んでもらっている。それによって自己をふりかえったり、なりたい自分について考えたりして、作文をまとめさせている。きゅうちゃんの実践例はワークシート1では各時期(各時代)4つずつ呈示しているが、田中他(2022)では6つずつ呈示している。

所属 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

あなたの今の気持ちに一番近い「きゅうちゃん」を選んでください。選んだ理由も考えてください。



I. 私は以前( )でした。その理由は \_\_\_\_\_

II. 私は今( )です。その理由は \_\_\_\_\_

III. 私は将来( )です。その理由は \_\_\_\_\_

ワークシート2

所属 \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

あなたの今の気持ちに一番近い「きゅうちゃん」を選んでください。選んだ理由も考えてください。  
選んだきゅうちゃんの数字に○をつけてください。



Copyright © 2021

ワークシート3

上掲のようなきゅうちゃんワークシートを活用した実践は数多く行われている。その中で使用法の工夫が必要な事例も報告されている。ワークシート3を活用した実践例でこんなエピソードがある。2021年1月、B県C高等学校の校長松尾修先生が高校2年生を対象に行った講話でのエピソードである。松尾先生は生徒たちにワークシート3を配付し、「今の気持ちに一番近いものは？」と問いかけた。そのときの様子を鹿内先生へのメールで次のように綴っている。

アイスブレイクで、半数以上の生徒がきゅうちゃんの9番（仰向けに寝ているもの）を選んだときはどうなることかと思いましたが、看図アプローチの力で、徐々に生徒も乗ってきたように思います。

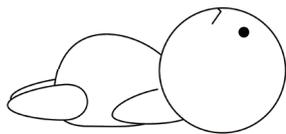


図1 9番のきゅうちゃん

9番のきゅうちゃん（図1）は、確かに仰向けに寝ている。多くの生徒たちが9番のきゅうちゃんからどのようなことを発想したのかは不明であるが、このことについては筆者にも同様の覚えがある。筆者が初めてワークシート3を用いたアイスブレイクを実施したのは2019年度の「教育学」第1回目授業であった。このときは対面授業が行われていたので、学生たちが書き込んでいるのを机間巡視していた。すると、多くの学生が9番のきゅうちゃんに○をつけ、「眠い」「動きたくない」「ゴロゴロしたい」「休憩したい」（レポートより抜粋）といったことを書いていたのである。このような展開が予想できていなかったわけではないが、イージーな解答であると感じたのは正直なところであった。対策として筆者は、学生たちが作業に入る前に「複数個選んで組み合わせても良いですよ」と指示している。しかし、ごく一部では

あるが、「眠い」ことだけを書く者もいた。「複数個選んで組み合わせても良いですよ」という指示を「複数個選んで内容をつなげて書いてください」というくらい強めても良いかもしれない。

2020年度も同じワークシート3を用いて授業を行った。このときは新型コロナの影響により初めてのオンライン授業での実施であった。オンラインというこれまで経験のない状況下であったため、9番のきゅうちゃんの見方も変わるのではないかと考え、きゅうちゃん絵図をそのまま使用した。その結果がチャット記録1～3である。なお、石田（2021）ではこのチャット記録の一部を紹介した。ここではチャット解答をしてくれた学生のすべての記録を載せておく。



チャット記録1

- 2 1番 へとにかく速くに行きたいから。
- 2 16番 運動したいから。
- 2 1番 できないことをしたい
- 2 9 自分に寝たいという気持ちがあるから。
- 2 3 ふとんでねたい
- 2 16 運動したい
- 2 1 4 天気も良いので外に出て空気を吸いたいです
- 2 15番 教育学って何かなと思ひ。
- 2 16 運動したい
- 2 16番 運動がしたいから
- 2 9、寝たい
- 2 18 おなかがすいた
- 2 4 画面越しで授業受けている感じが似ているから
- 2 20 お腹がすいた
- 2 18番 お腹が空いてきたから。
- 2 9 眠たい
- 2 9 ぼーっとしたいから
- 2 9 寝不足だから
- 2 15 椅子に座って授業を受けているため
- 2 18 おなかがすいたから

チャット記録2

- 2 9 眠いので
- 2 4 速く行きたい
- 2 17 体を伸ばしたいから
- 2 1 6 理由：自粛期間で体を動かせていないため運動をしたいから。
- 2 9
- 2 16ばん 体を動かしたい
- 2 9 ベッドが近くにあるから
- 2 9 眠たいから
- 2 9番 眠い
- 2 16番 運動したい
- 2 1 8番 おなかがすいた
- 2 16 運動したい
- 2 12 楽しそうだから
- 2 5 →勉強のイメージが階段を上る感じだから。
- 2 4 遠くを眺めたいから
- 2 7番 勉強ついていけるか心配
- 2 15
- 2 18番 下からご飯の匂いがしてくる
- 2 9きゅちゃん 寝たいです。
- 2 15番 椅子に座っているから
- 2 1 6
- 2 9
- 2 9、犬と寝る

チャット記録3

第1回目授業に出席していた95人中59名がチャットに参加してくれたが、そのうちの9名が9番のきゅうちゃんを選択していた。選択理由ではやはり「眠たい」「寝たい」が多い。しかし、9番以外のきゅうちゃんを選択し、「体を動かしたい」「運動したい」といった動的な記述をする学生も多くみられた。コロナ禍で外出する機会が

減ったり、部活動ができなくなったりしたことによる影響だろうか。この年は「9番のきゅうちゃんばかりだ」という印象はなかった。

2021年度の授業では、第1回目授業（対面形式）に出席していた101名中47名の学生が9番を選び、「寝たい」「休む時間がほしい」「疲れているから」等と書いていた（レポートより一部

抜粋)。思っていることを表出することは人によっては難しい場合がある。そのため自己表現するきっかけとしては、9番のきゅうちゃん（きゅうちゃん）の存在は意味のあるものである。しかし、教員としては、「眠い」のような記述だけでは学習活動としては少々認めがたい部分もある。



ワークシート4

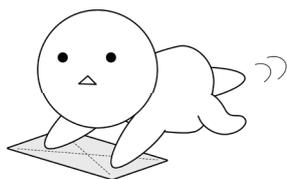


図2 雑巾がけをするきゅうちゃん

そこで、2022年度は9番のきゅうちゃんを変更したものを準備した（ワークシート4）。眠たいイメージからは真逆の働き者、「雑巾がけをするきゅうちゃん」（図2）に変更した。実践の結果、雑巾がけをしている9番のきゅうちゃんを選択したのは授業当日出席者122名中4名であった。このきゅうちゃんを選択した学生のレポートを一部紹介する。まちの名前は筆者が記号化した。

学生Aの記述

9+11+18の組み合わせで「春になり一人暮らしで大学に通うことになり不安などもあるが、掃除や料理といっためんどくさいことでもやりがいを感じ、今はすこぶる楽しい気持ち」を表現しました。

学生Bの記述

今年度から成人とされ、大学生として新しい生活がスタートしたので、交友関係も学問も心機一転、真新しい気持ちでスタートさせたいという気持ちがあったため。

学生Cの記述

5, 7, 9を選択  
これらをまとめると大学生活に入りやる事が多くて辛い状況なのを表しています。  
○にある自宅から通うことになり通学にかなり時間が取られるため起床時間が変わった他履修登録や奨学金などのやらなければならないことが多くかなり疲労気味な様子です。  
7番は生活リズムを変えた影響で体調を崩し気味でかなり精神的にもキツく、まさにイラストのきゅうちゃんの通りでとても近い状態なので選択しました。

今後授業があるのでさらに忙しくならないように今のうちに予習をしていこうと考え自由時間を勉強に注いでいるのでその様子を5番のきゅうちゃんが階段を登る様子や9番の床拭きをするところからイメージできると考え選択しました。

学生Dの記述

私は、5番、9番、18番を選びました。  
5番を選んだ理由は、つい先日この大学に入学して新しい環境での生活が始まったので、分からないことがたくさんあるが、少しずつでも環境に慣れていきたいと思っている自分と5番の階段を1段ずつ上がっているイラストとあっていると考えました。

9番と18番のイラストを選んだ理由は、大学に進学すると共に〇〇から□□に来て1人暮らしを始めたので家の全てのことを1人でやっていかないといけなくなり掃除や料理をしている9番と18番のイラストが自分とあっていると考えました。

雑巾がけきゅうちゃんは、新生活や初めての大学生活についてのポジティブな考えを引き出すビジュアルテキストになってくれたようである。比較実践が必要であるので、2023年度も引き続きワークシート4を活用してみたい。

ワークシート1～4では、「各時期(各時代)」に分けて問うたり、「今現在」のこのみを問うたりしている。授業やワークショップ、講演用にその都度少しずつアレンジを加えて実践することも可能である。発問の仕方・指示の強さ・用いるきゅうちゃんの数については引き続き試行錯誤が必要である。なお、「今現在」に焦点をあてさせるアイスブレイクとして、ワークシート5のように8種類のきゅうちゃんを選択肢にしたものもある(例えば鹿内2018)。本節の締めくくりとしてワークシートのみ紹介しておく。

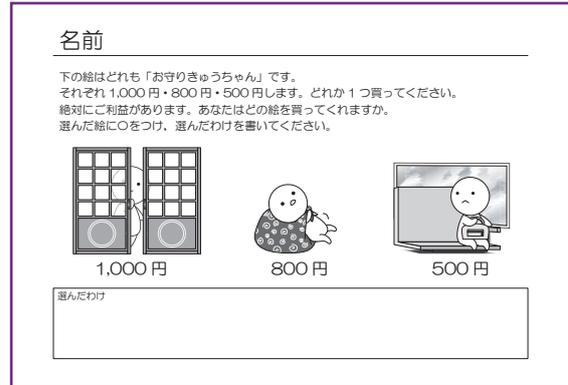


ワークシート5

## II-2 「お守りきゅうちゃん」アイスブレイク

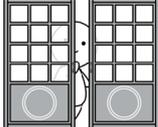
授業でもワークショップでも好評なのがこの「お守りきゅうちゃん」(ワークシート6)である。学会ワークショップ(鹿内他2019)や大学FSDS研修(鹿内2021)の他、2021・2022年度は筆者の「教育心理学」第1回目授業のアイス

ブレイクにも登場している。2022年度の学習者記述例を2例ずつ載せておく。

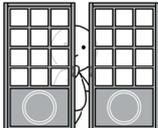


ワークシート6 「お守りきゅうちゃん」

### 学生Eの記述

 お守りを買うなら1番高いほうがご利益をたくさんもらえそうだし、1番のきゅうちゃんは襖から私を覗いて見守ってくれているような気がしたからです。1番のお守りきゅうちゃんを持っていたら、遠くから見守ってくれて必ずいい方向に導いてくれるような気がしました。

### 学生Fの記述

 開運ということで、襖を開けているように見えることよりご利益が強そうだなと思いました。1000円のお守りを持っていると、宝くじが当たったりと大きな幸運から、目的地まで信号に引っかからないで歩けたりといった小さな幸運まで幅広い運氣が上がると思います。

### 学生Gの記述

 きゅうちゃんは風呂敷を持っていて、風呂敷のイメージといえば泥棒が思いつく。泥棒といえば何かを盗むという悪いものだが、お守りなのでここでは悪いことが起きるのではなく、良い意味で“盗む”という意味を捉えた。悪いものをきゅうちゃんが“盗む”=きゅうちゃんの風呂敷が悪いものを“吸収”する、また、良いものをきゅう

うちゃんが“盗む”=きゅうちゃんの風呂敷が良いものを“寄せ付ける”という意味として考えたときに、このきゅうちゃんのお守りがいいと思った。

#### 学生Hの記述



風呂敷に包まれた荷物がクッション代わりになり、おそらく後ろに倒れたのであろうきゅうちゃんが怪我

をせずに済んだ場面を描いたお守りに見える。私も小学生の頃、ランドセルを背負っていたことで頭を打ち付ける等の怪我から守られた経験があり、“お守り”きゅうちゃんという名前からも危険から身を守ってくれるご利益のイメージが強かったため、それに一番当てはまる800円のお守りきゅうちゃんを選んだ。  
【お守りのご利益】先に書いた理由からも転倒防止や怪我全般に効果のあるご利益を期待している。馴染み深い風呂敷と愛らしいきゅうちゃんのコラボレーションを可愛いと思う高齢者の方も多いと思うのと、様々な転倒リスクを抱える祖父母に丁度良いなとプレゼントしたくなった。

上掲記述例は、個人思考の後、座席順に構成した3～5人グループで「どのきゅうちゃんを選びどんなご利益があると考えたか」について共有してもらっている。全体としては1000円・800円を選択する者が多めで、500円は少なめである。お守りの値段にこだわって考える学生も多い。

なお、この「お守りきゅうちゃん」は本当にご利益がある。学会ワークショップ（鹿内他2019）での出来事を紹介する。このとき、筆者は「お守りきゅうちゃん」の実物を製作して持参した。そして、希望する参加者にプレゼントした（写真1）。



写真1 手作り「お守りきゅうちゃん」  
(赤とモノクロ各1枚ずつ計6枚用意した。ラミネート加工している。)

#### 学生Iの記述



椅子に座っていて、何か困っているように見えました。なので、このお守りは電車など椅子などがある場所で混雑している場合でも座れるようになる効果があると考えました。また、きゅうちゃんが困っているのは、効果が効きすぎて自分の周りに座る人がいなくなるのかなと思いました。

椅子に座っていて、何か困っているように見えました。なので、このお守りは電車など椅子などがある場所で混雑している場合でも座れるようになる効果があると考えました。また、きゅうちゃんが困っているのは、効果が効きすぎて自分の周りに座る人がいなくなるのかなと思いました。

「お守りきゅうちゃん」のワークがひと段落したとき、鹿内先生が「お守りきゅうちゃんの実物を作ってきました。ほしい方にプレゼントします。」とアナウンスした。すると、直後にサッと挙手された先生がいらした。茅野徑子先生だった。茅野先生は鹿内先生から渡された「お守りきゅうちゃん」を大切に持って帰られた。そして茅野先生は後日、鹿内先生へのメールで「物事が本当に良い方向に動いていっている」旨の報告をくださっている。実際、茅野先生はその後本研究誌にもたびたびご投稿され、充実した実践内容を4編も発信されている（茅野2020a, 2020b, 茅野他2021a, 2021b）。

#### 学生Jの記述



電車か何かの窓際の座席に座っていて、誰かを待っているような感じで座っているので、隣に誰かが座ってくるといことで運命の人に会えるという良いことが起こると考えた。

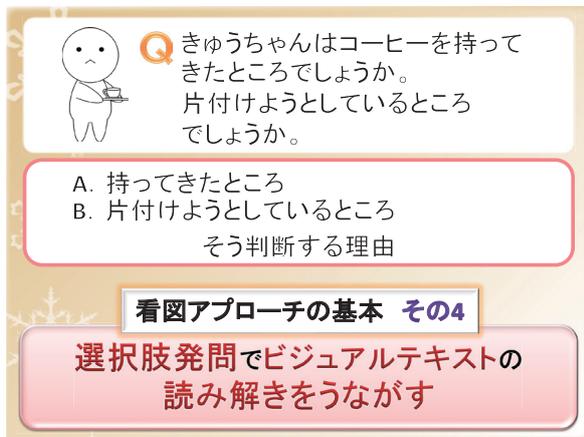
電車か何かの窓際の座席に座っていて、誰かを待っているような感じで座っているので、隣に誰かが座ってくるといことで運命の人に会えるという良いことが起こると考えた。

「お守りきゅうちゃん」のアイスブレイクは、お守りの値段を気にする者もいるし、きゅうちゃん絵図から読み取ろうとする者もいる。きゅう

ちゃんはビジュアルテキストであるので、筆者としては絵図をじっくり読み解き、考え、選択してほしい。しかしながら、グループ内に、値段にこだわる人がいたり、絵図内容にこだわる人がいたり、そうした考え方や価値観の違いを感じられるのもこの「お守りきゅうちゃん」の面白いところかもしれない。

### Ⅲ.「ビジュアルテキスト読解のウォーミングアップ・エクササイズ」への活用

#### Ⅲ-1 コーヒーカップを運ぶきゅうちゃん



Q きゅうちゃんはコーヒーを持ってきたところでしょうか。片付けようとしているところでしょうか。

A. 持ってきたところ  
B. 片付けようとしているところ  
そう判断する理由

**看图アプローチの基本 その4**

**選択肢発問でビジュアルテキストの読み解きをうながす**

スライド 1

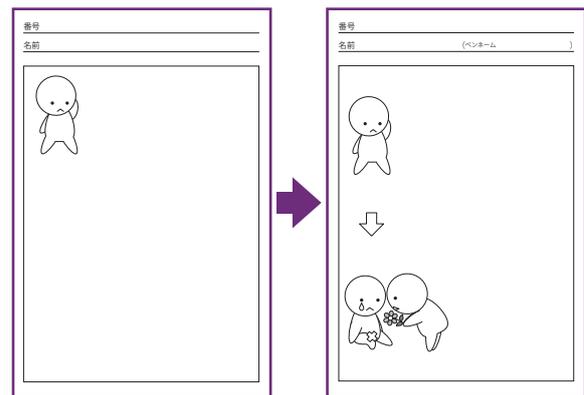


図3 コーヒーカップを運ぶきゅうちゃん

スライド 1 は講演用 (例えば鹿内 2016f) に作成したものである。このきゅうちゃんは、アイズブレイクとして活用することも可能であるが、看图アプローチの指導法にふれる第一歩として活用することもできる。読者の方はきゅうちゃんがコーヒーを「持ってきたところ」「片付けようとしているところ」どちらと思うだろうか。また、そう思った理由はどんなものだろうか。例えばあ

る人は「持ってきたところ…きゅうちゃんは新人店員で運ぶテーブルを探している」と答えるかもしれないし、「片付けようとしている…お客様にお出ししたが何か不都合があって下げさせられている」などと答えるかもしれない。きゅうちゃんの表情などから、その前後のストーリーも様々な想像でき、看图アプローチ入門に適したワークになる。

#### Ⅲ-2 2幅のきゅうちゃんを連続して読み解く



ワークシート 7

ワークシート 7 は、講演 (例えば鹿内 2016e, 2016f, 2017a, 2017b) で活用が始まった。また、授業内でも活用されている。鹿内先生の D 大学での授業で産出された物語を紹介する。

#### 学生 K の物語

キューちゃんはふと気がついた。

「自分、服着てない」

街で人間達が身につけている様々な衣服に、憧れを抱いた。しかし、キューちゃんは自分の体に合った服がないことを知った。きゅうちゃんは身長 5 cm の為、合うサイズの服がない。

「どうやって服を作ろう…」

キューちゃんは考え、ぐるぐる歩いているうちに綺麗なアメの包み紙を見つけた。赤と水色の水玉模様が白地に描かれている。

「これだ——— !!!」ドドド……

パタン。

キューちゃんは嬉しさのあまりつい駆け出し

てしまい、転んでしまった。

すると、一部始終を見ていた双子のピーちゃんが一言、

「わたしたちはマヨネーズの妖精だから油分で服が着れない」

キューちゃんは「まあね」と納得し、2人で家に帰った。

この学生は「きゅうちゃん」「ぴいちゃん」を「キューちゃん」「ピーちゃん」と表記していた。そして最後に「マヨネーズの妖精だから油分で服が着れない」というユニークな設定（オチ）を書いてくれている。そう、この物語はなんと、あの有名なマヨネーズからヒントを得たものだったのである。「キュー」「ピー」。前報（石田 2022）では「きゅうちゃん」だけでなく「ぴいちゃん」もいることを報告している。そもそも筆者が「ぴいちゃん」をつくろうと考えたのはこの物語がきっかけだったかもしれない。アルファベット順でも o, p, q, r と語呂が良く必然性もある。

きゅうちゃんはシンプルなビジュアルテキストであるが、それゆえに思いもしない物語を学生たちは創出してくれる。同じワークシート7から生まれた物語をもう1つ紹介する。学生Lはかわいいイラストも描いてくれていたのであわせて紹介する。

#### 学生L（空さん）の物語



ある日、キューちゃんは愛犬のダリアンと散歩をしていました。しばらく歩いたところで、ダリアンが立ち止まってしまいました。

「ん？どうしたんだい？」

ダリアンは動きません。

「ほら、行くよ。」

ダリアンはやっぱり動きません。

キューちゃんは先に進もうとダリアンのリードを思い切り引っ張りました。すると…

思いきりころんでしまいました。キューちゃんはひざをケガしてしまいました。

そこに、友だちのピーちゃんがやってきました。

「どうしたんだい!? キューちゃん、君ケガしてるじゃないか！」

キューちゃんが事情を話すと、「ちょっとまってて」と言ってピーちゃんはどこかへ行ってしまいました。

しばらくすると、ピーちゃんが戻ってきました。

「元気出して。ほら、この花、とてもめずらしいんだ。君にあげるよ。」

「ありがとう、ピーちゃん。」

「ダリアンも生きてるんだ。歩きたくない時もあるさ。気分ってもんだよ。」

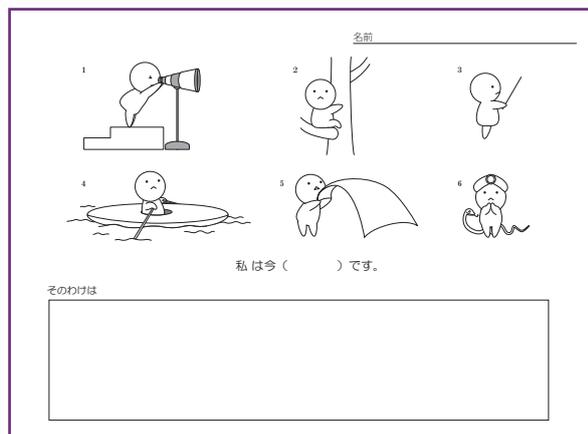
学生L（空さん）は、ワークシートの余白に「ダリアン」という犬を描き込み、物語を創作した。この味わい深い描写の「ダリアン」は、きゅうちゃんがケガをした状況を詳しく伝える追加ビジュアルテキストになっている。「キューちゃん」への「ダリアンも生きてるんだ。歩きたくない時もあるさ。気分ってもんだよ。」という助言もユニークである。ワークシート7では、他にも多数のユニークな読み解きが産出されている。他の読み解き例については鹿内先生の報告にお譲りする。筆者は現在、この一連のワークを「人間関係」や「コミュニケーション」関連の科目に応用できないか模索中である。

#### IV. 「ふりかえり」への活用

授業やワークショップに参加したあとで、感想を求められたり、アンケート記入を求められたりすることはよくある。しかし、みな素直に言いた

いことを表現できているだろうか。体裁をつくらうだけの感想を書いてしまったり、本心と違うことを書いてしまったりすることはないだろうか。そんなときにも、きゅうちゃんは活躍できる。きゅうちゃんは「ふりかえり」も得意である。

#### Ⅳ-1 アイスブレイクからの応用



ワークシート 8

例えばワークシート 8 は、アイスブレイク用に作成したもの(Ⅱ章参照)を「ふりかえり」用に活用したものである。これは講演等(例えば鹿内 2016a, 2016b, 2016c, 2016d)で活用されたワークシートである。6種類のきゅうちゃんから「今の気持ち」に近いものを選んでもらい、講演を終えての「ふりかえり」をまとめてもらった。

#### Ⅳ-2 きゅうちゃんと物知りのモグラさん



ワークシート 9

ワークシート 9 は「モグラときゅうちゃん」の絵図 1 種類を使ったものである。講演や研修会(例えば鹿内 2019a, 2019b, 2019c)で活用されたものである。発問は、「きゅうちゃんも今日のワークショップを受けていました。きゅうちゃんは聞きたいことがあり、物知りのモグラさんのところに行きました。きゅうちゃんはモグラさんに何と言っているのでしょうか。」である。この発問を受け、参加者は「きゅうちゃんのことば」欄に「自分が聞きたいこと」を記入する。

グループメンバーと内容を共有したあとで次の発問を投げかける。「物知りのモグラさんはきゅうちゃんにどのような返答をしていますか。」参加者には下の空欄に「物知りのモグラさん」になったつもりで自分の疑問への返答を書いてもらう。このような手順を踏むと、ただ単に「感想を書いてください」などと問うよりも問題意識が明確になり、さらに参加者独自で答えを深く探っていくことができる。参加者が「きゅうちゃん」にも「物知りのモグラさん」にも自己を投影する、ユニークなワークである。

#### Ⅴ. おわりに、そして今後の課題

本稿では『『アイスブレイク』および『協同の場づくり』』『ビジュアルテキスト読解のウォーミングアップ・エクササイズ』「ふりかえり」のワークについて、代表的なきゅうちゃん活用法を紹介してきた。きゅうちゃんの歴史はなかなかに壮大であり、正直なところ本稿で紹介したものが「ちょこっと使い」のすべてとは言えない。きゅうちゃんへのニーズがまだそれほど高まっていなかった期間の実践資料は、行方不明になってしまったものも多い。とくに「ふりかえり」に関する資料は、その性質上、記述後そのまま参加者に返却してしまっているため見つけることができなかった。これはとても悔やまれる点である。これから改めて実践し、資料を収集していきたい。また、今後は各教科・各教育領域での「きゅうちゃん」活用例を報告していきたい。

全国に、埋もれてしまっている実践がたくさん

あるのではないかと筆者は思う。もし読者の中に、「きゅうちゃんてこんな“とっても大事なちょこっと使い”してみました！」という方がいらっしやいましたら、ぜひとも当研究誌へご寄稿ください。

#### 引用・参考文献および講演・ワークショップ等

茅野徑子 2020a 「肯定感を育て認め合う集団づくりを目指して—看図アプローチ協同学習による授業実践—」『全国看図アプローチ研究会研究誌』2号 pp.3-11

茅野徑子 2020b 「『看図アプローチ語りカフェ』による『自分を深く考えよう大作戦]—未来に向かっていく力をつける中学校国語科の卒業制作—」『全国看図アプローチ研究会研究誌』3号 pp.16-29

茅野徑子・時田優奈 2021 「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでもできる看図作文指導—『きゅうちゃん、たぶんこうだったんじゃないか劇場]—」『全国看図アプローチ研究会研究誌』6号 pp.3-15

茅野徑子・高橋桃子・細川亜紀・小笠原明子 2021 「世界へ飛び出せ、グローバルきゅうちゃん！—ストーリーテラーに挑戦の巻—」『全国看図アプローチ研究会研究誌』9号 pp.3-19

福永優子 2022 「看図アプローチを活用した5歳児のおはなしづくり」『全国看図アプローチ研究会研究誌』10号 pp.19-32

石田ゆき・山下雅佳実・鹿内信善 2019 「創造性を育むツールとしての看図アプローチ—絵本づくり授業実践の報告—」『全国看図アプローチ研究会研究誌』1号 pp.2-15

石田ゆき 2021 「看図アプローチを活用したオンライン授業の実際—医療系大学における『教育学』授業を例にして—」『全国看図アプローチ研究会研究誌』5号 pp.3-16

石田ゆき 2022 「きゅうちゃんの歴史（I）—誕生編—」『全国看図アプローチ研究会研究

誌』16号 pp.29-37

鹿内信善 2016 (a) 年6月22日 「見ることから始める言語活動の充実—看図アプローチを用いた授業づくり—」福岡聴覚支援学校講演

鹿内信善 2016 (b) 年8月9日 「看図アプローチによるアクティブラーニングの展開—協同学習ツールのつくり方いかし方—」北海道アクティブラーニング（協同と創造の授業づくり）研究会講演

鹿内信善 2016 (c) 年8月26日 「見ることから始める言語活動の充実—看図アプローチ協同学習のすすめ—」札幌聾学校講演

鹿内信善 2016 (d) 年11月21日 「看図アプローチでつくるアクティブラーニング—キーワードは読書と作文—」今金町研修会・講演

鹿内信善 2016 (e) 年12月24日 「看図アプローチによるアクティブラーニングの展開—協同学習ツールのつくり方いかし方—」比治山大学講演

鹿内信善 2016 (f) 年12月27日 「見ることから始める言語活動の充実—看図アプローチを用いた授業づくり—」北海道聴覚障害教育研究会冬季研修会

鹿内信善 2017(a) 年1月9日 「看図アプローチで使える様々なアイテム」日総研セミナー（福岡）

鹿内信善 2017(b) 年5月17日 「おはなしづくりのおはなし—看図作文から看図でおはなしへ—」小浜保育所講演

鹿内信善 2018 年8月11日 「アクティブ・ティーチャーを育てる看図アプローチ」北海道アクティブ・ラーニング（協同と創造の授業づくり）研究会講演

鹿内信善 2019(a) 年1月10日 「看図アプローチによる協同学習システム」北海道高等学校教育研究会講演

鹿内信善 2019 (b) 年2月19日 「主体的で対話的で深い学びをつくる協同学習」白樺学園高等学校講演

鹿内信善 2019(c) 年10月10日 「アクティブ・

- ラーニングの核となる協同学習ー看図アプローチの活用ー」北郷小学校講演  
鹿内信善 2021年8月17日 「発問のつくり方」  
天使大学 FSDS 研修
- 鹿内信善・山下雅佳実・石田ゆき 2019年10月27日 「対話的学びを活性化する看図アプローチ」日本協同教育学会第16回大会ワークショップ
- 田中 岬・石田ゆき 2022 『『看図アプローチ語りカフェ』を活用した1年生の自分作文ー過去現在未来の自分に似たきゅうちゃんに思いを綴るー』『全国看図アプローチ研究会研究誌』16号 pp.3-28

2023年1月 8日受付

2023年1月20日受理